

(新)新循環基本計画の策定を受けた3Rの国民運動の展開

20百万円(0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

1. 事業の概要

循環型社会を形成するためには、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進が重要である。

そのうちリサイクルについては、各種個別法が制定され取組が行われているが、廃棄物の発生を抑制するリデュースや、追加する消費エネルギーや環境汚染が少ないことからリサイクルより優先されるリユースの取組をさらに推進していくことが必要である。

来春、策定予定である新循環基本計画においては、リデュース・リユースに関する取組の強化が求められる可能性が高くなっている。

最近、レジ袋の削減など各種リデュースの取組については進展しつつあるが、リペアやリユース食器の導入については十分に取組まれているとはいえないことから、その対応を補うために「もったいない」の気持ちを活かしながら、国民1人1人のライフスタイルの変革を進めるための国民運動を展開していく。

2. 事業計画

- ・リデュース・リユースにつながる「リペア」(修繕等のサービスのみ)の取組については、その全体像が明らかではない。今後リペアの振興施策を検討していくために、まず、その全体像・課題・政策として支援可能な対象を整理する。
- ・リユース食器の導入実績が乏しい大都市圏を重点的に、大きな効果が見込まれる大規模イベントにおいて、リユース食器の導入実証試験を実施する。

3. 施策の効果

循環型社会の形成に向けて、国民に3Rの推進を身近な問題としてとらえてもらうことで、リデュース・リユースの取組を強化し、使い捨てに対する消費者の意識を変化させ天然資源の消費を押さえることで、環境への意識を高めるきっかけになり、最終的には一般廃棄物の減量につながることになる。

4. 備考

予算額 20,104千円

(内訳)

リペア普及促進実態調査	7,842千円
リユース食器導入実証試験調査	12,262千円